

info  
12

## 結核のない世界を目指して ～複十字シール運動実施中～

3 すべての人に  
健康と福祉を



結核は、結核菌による慢性感染症で、主に肺に炎症を起こします。

空気感染により感染し、風邪のような症状（咳、痰、発熱）が続くのが特徴で、世界では年間100万人の方が亡くなられています。

「複十字シール運動」は、結核のない世界をつくることを目的に1952年に始まりました。結核予防会および全国の協力団体が窓口となり、「複十字シール募金」を行うとともに、結核への理解を深め、予防の大切さを世界中に伝えるための活動を推進しています。

募金は、主に結核・肺がん・COPD（慢性閉塞性肺疾患）などの病気予防の普及啓発、結核予防団体の支援・調査研究、国際協力などに役立てられています。

### 市からのお知らせ

結核予防婦人会では複十字シール運動募金活動を行っています。

今後も結核のない世界の実現のため、一緒に活動していただける結核予防婦人会の会員を募集しています。興味のある方は右記担当までご連絡ください。

## 結核に関するQ&A

### Q どんな方が感染していますか？

A 感染した方の約4割以上が80歳以上の高齢者です。かつて日本で結核が「国民病」としてまん延した時代に感染し、高齢となってから免疫力の低下や加齢に伴うさまざまな健康問題に伴い発病するケースが多数を占めています。

### Q 若い方でも感染しますか？

A 国内にいる20代の感染者では外国生まれの方が8割を占めます。結核罹患率が高い発展途上国から多くの若年層が留学・就業のため日本に入国しています。

### Q 予防はできますか？

A 子どもはBCG接種が有効です。大人は健康的な生活と定期的な健診の受診が重要です。

『適度な運動』『十分な睡眠』『バランスの良い食事』『たばこを吸わないこと』が大事です。



複十字シール運動  
イメージキャラクター  
「シールぼうや」

問 健康対策課健康企画班 (☎ 73-2124)

info  
13

## 避難行動要支援者名簿の 利活用について

～誰もが安全・安心に暮らせるまちを目指して～

市では、高齢者のみの世帯や重度の障がいがある方など、災害時に避難の支援が必要な方をまとめた『避難行動要支援者名簿』を作成しています。

また、この名簿に登録されている個人情報の提供に同意いただいた方の情報は、避難支援等関係者（町内会、自主防災組織、福祉団体など）に平常時から提供され、日頃からの声かけや避難支援の体制づくりに活用されています。

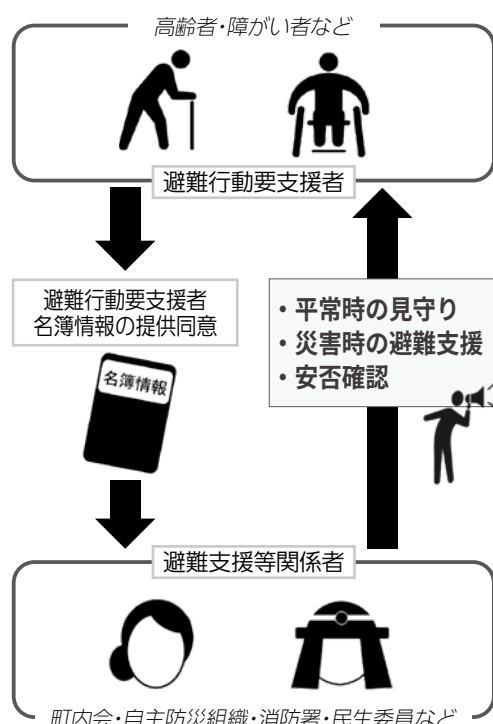
『避難行動要支援者名簿』に登録されていて、名簿の情報提供の可否が確認出来ない方に対しては、今月中に「避難行動要支援者名簿提供同意書」を発送します。

市の取り組みの詳細は、市ホームページをご覧ください。



市ホームページ

### 避難行動要支援者名簿活用の仕組み



問 福祉課地域福祉班 (☎ 73-2122)